



日野療護園  
フォーシーズンズ

東京都  
社会福祉  
事業団



# Four Seasons

No.76

2017年5月25日 春号

発行/編集：日野療護園 〒191-0034 日野市蓬川245-1 Tel 042-593-2421 Fax 042-593-0075 E-mail hinoryo@hinoryo.org HP http://www.hinoryo.org

## 山中“新”園長挨拶

日頃より、日野療護園に対して、ご利用者の皆さまをはじめ、ご家族の皆さまより暖かいご支援ご協力をいただき、心からお礼と感謝を申し上げます。

このたび、平成29年4月1日より日野療護園園長に就任しました山中です。これまで日野療護園の福祉サービスグループ、事業推進グループ（活動援助）などで、8年間利用者支援の現場で仕事をさせていただきました。

私が日野療護園で仕事をさせていただいてきたこの8年間は、変化の連続であったと思っています。特に、自主運営開始してからのこの2年間は、その日その日の対応に追われる毎日であったと感じています。

そのような中においても、職員一人ひとりが、ご利用者の皆さま一人ひとりの思いに寄り添った支援をする姿勢こそが私自身のみならず、職員全員の支えであったと思っています。このことは、私が園長となったこの先も、日野療護園における利用者支援の財産（宝）として守り、そしてより強固なものにしていきたいと考えています。まだまだ園長という舵取りやその職責の重大さに戸惑ってはいますが、職員一丸となり、ご利用者の皆さまが、健康で笑顔いっぱい生活が送れるよう全力で取り組んでいきますので、引き続きご指導・ご鞭撻をたまわりますよう、宜しくお願いいたします。

（記：日野療護園園長 山中茂幸）



## 新規・転入職員紹介

満開の桜の下、今年は事業推進グループに女性1名、管理グループに女性1名、福祉サービスグループに女性6名・男性4名、合計12名の新しい職員を迎え入れました。皆さん、すぐに現場に馴染み、元気いっぱいに活躍しています！春からまた新たなスタートを切った日野療護園をどうぞよろしくお願い致します。

（記：福祉サービス第2グループリーダー 石川）



（写真中央は激励で来園された白石理事長）

きら しん じぎょうすいしん あいさつ  
吉良 “新” 事業推進グループリーダー挨拶

桜も咲き、春の日差しも温かく、園の周囲では新緑や小さな鳥達の優しい声が聞こえる季節になりました。皆様こんにちは。この度、事業推進グループリーダーに就任しました吉良健太郎です。日野療護園ではこれまで福祉サービスグループで5年、第1グループリーダーとして2年間、支援に携わらせて頂きました。

福祉サービスグループに配属された当初は、見る事も聞く事、初めてのことが本当に多く、とても緊張していた事を覚えています。それでも徐々に仕事に慣れ、入居者の皆様からの「ありがとう」の言葉を励みにこれまで勤めることが出来ました。

日野療護園では入居者の皆様や毎日頑張る職員の方々から学ばせて頂く事がいっぱいです。これからも少しでも皆さんのお役にたてるように、笑顔で前を向いて支援にあたっていきたくと思っています。何かあればいつでも気兼ねなく話しかけて下さい。私の方からも皆様に沢山話しかけていきたくと思っています。『みんなが話をしやすい、ほっとする場所』そんな日野療護園にしていけるよう心掛けていきたくと思います。よろしくお願ひ致します。

(記：事業推進グループリーダー 吉良健太郎)



みやうち しん ふくし だい あいさつ  
宮内 “新” 福祉サービス第1グループリーダー挨拶

この度、福祉サービス第1グループリーダーに就任しました、宮内亜希子です。

日野療護園で勤務してからは、丸4年が経ち、5年目になります。

ローテーションでの勤務しか経験が無いので、グループリーダーとしての働きができるか？責務を果たすことができるか？不安だらけではありますが、4年間の現場での経験と、今までに築いた入居者さんと職員との関係を最大限に生かして、職務にあたりたいと思います。

入居者さん、職員と近い立場に立ち、より良い生活が出来るよう、より良い支援が出来るように、一緒に考えて、行動して行きたいと思っています。至らない点が数多くあると思いますが、一生懸命勤めさせていただきますので、今までと変わらず、よろしくお願い致します。

(記：福祉サービス第1グループリーダー 宮内亜希子)



いしはら しん えいようしあいさつ  
石原“新”栄養士挨拶

はじめまして。本年度より新規採用となりました栄養士の石原美佳と申します。栄養士をするのは日野療護園が初めての施設なので、何かとご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、精一杯頑張りますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

私自身、大学時代にベトナムのリハビリ病院でボランティアをした経験があり、障がい者支援に関心がありました。一度他の職に就きましたが、改めて栄養士として自分なりの関わり方で障がい者支援に携わりたいと思い、現在に至ります。

勤め始めて早3週間が経ちますが、職員の皆様の温かいフォローに日々助けられています。又、ご利用者様との会話にも日々発見があり興味深く、今後より一層の信頼関係を築いていきたいと考えています。今後の目標はご利用者様や職員の皆様から信頼される栄養士になることです。そのために、小さなことも疎かにせず、何事も前向きに取り組んでまいります。

どうぞ宜しくお願いいたします。

(記：栄養士 石原美佳)



はぎわら しん かんり  
萩原“新”管理グループリーダー挨拶

みなさまこんにちは。この度管理グループリーダーに就任しました、萩原由紀と申します。

日野療護園に異動したのは3年前。あっという間に、年月が過ぎこの春4年目を迎えることとなりました。

昨年度までは栄養士としてご利用者様への食事提供を中心に、生活の基礎を支える健康と食の楽しみについて支援を行って参りました。今年度からは、ご利用者様の支援を支える職員へのサポート、園運営について業務を行う事となりました。

全く違った面からの園の職務に不安も多いですが、共に過ごす職員やご利用者様に声をかけていただき、支えられて過ごしております。できるだけ早く業務に慣れて、グループリーダーとしてしっかり業務を行えるよう努めて参ります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(記：管理グループリーダー 萩原由紀)



# 平成29年度日野療護園運営方針の紹介

## 日野療護園運営理念

自主運営3年目にあたり、サービスの根幹となる日野療護園「運営理念」の実現（理念の具現化）に向け、利用者本位のサービスの徹底、地域に貢献できるサービス提供にまい進していきます。併せて、自主運営施設としての経営感覚を持った業務・経営等の改善に取り組みます。全職員が組織目的を共有し、それぞれの役割と責任を果たし、相互に協力しながら園運営体制を構築していくことで、日野療護園で働くことに誇りを持つ職場の風土作りを進めていきます。

また、「運営理念」のさらなる浸透に向け、ホームページや園便り等を通じて、運営理念を地域に発信し地域福祉の向上に努めていきます。

生活の場を確保するという一人ひとりの利用者の思いを受け止めて日野療護園が開設された経緯を踏まえ利用者の個性と主体性を尊重し、自らの人生を自ら構築するためのエンパワメントに主眼を置いた支援を行います。



## ～日野療護園運営理念～

1. 一人ひとりが自分らしい人生を送ることができる支援をします。
1. 一人ひとりの信頼と絆を大事にした支援をします。
1. 地域の誰にでも、いつでも、どこでも、いつまでもお役にたてる支援をします。
1. 地域とのつながりを持ち、地域に貢献する支援をします。
1. 明るい笑顔を大切に、心のこもった温かい支援をします。
1. 豊かな感性を持ち、自覚と責任のある支援をします。



## 平成29年度の運営方針

利用者が基本的な人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、きめ細やかな質の高いサービスを提供します。また、人材確保・育成の強化、創意工夫と業務の見直しによる、効率的・弾力的なサービス提供に努めていきます。この為、以下の5つの方針により施設運営を行います。

### 1 利用者本位のサービスの徹底

(1) 利用者本位のサービスの徹底に向けて、利用者一人ひとりに向き合い、その方らしく生き生きとした生活が送れるよう、個性や主体性を尊重するサービスを提供します。

また、ニーズを丁寧に把握した上で個別支援計画を作成し、安心した生活や社会参加に結びつく支援を行います。

(2) 福祉サービス第三者評価の受審、利用者満足度調査、苦情相談における第三者委員の活用などにより、客観的な視点から検証と評価を重ね、サービス改善の取組を進めるとともに、より開かれた施設運営とサービス水準の向上に努めます。

### 2 公的な役割の強化

都立施設として培ってきた先駆性、専門性を継承し、引き続き最重度障害者や重複障害者等、特別な支援が必要な利用者を積極的に受け入れ、セーフティネットの役割を果たし、重度の障害がある方でも希望する地域で生活ができるよう、地域移行支援及び地域定着支援に取り組みます。また、高齢化・重度化・虚弱化に伴い、嘱託医や関係医療機関との連携を強化するとともに、研修の受講により、たんの吸引等を行う生活支援員の資格者の育成に努めます。

### 3 人材確保・育成の充実強化

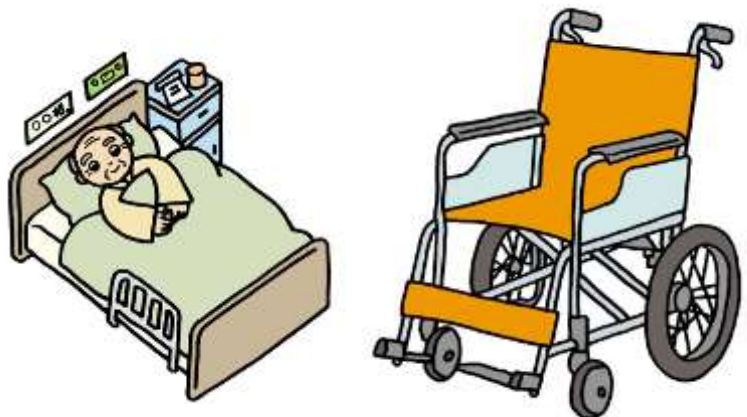
質の高いサービスを安定的に提供するため、OJTを人材育成の基本と位置づけ、これまで培ってきた支援ノウハウを継承するとともに、能力・職責に応じた研修計画に基づき、高い専門性やスキルを備えた職員の育成を図ります。また職員一人ひとりの自己肯定感を高め、職員一人ひとりが主役となる研修プログラムにより、活力溢れる人材育成、職員間の連携とフォローアップ体制を確立し、全職員が一体となる組織風土を醸成していきます。さらに、今後の安定した自主運営体制の構築に向け、次世代を担うチームリーダーの人材育成を進めていきます。

### 4 運営体制の強化

利用者の権利擁護を推進し、虐待等不適切な支援の防止に向けた取組の強化を図るとともに、利用者の安心・安全な生活のため、リスクマネジメント、感染症予防の強化、防災訓練の定期的な実施、情報セキュリティ対策等の徹底を図ります。また、業務の見直し等による効率的な施設運営、経営目標指標に基づく執行管理等により、安定的・自立的な施設経営を進めていきます。

### 5 地域との連携の強化

地域の多様な主体と連携し、利用者の地域生活移行への取組をはじめ社会参加や地域社会との交流を図り、開かれた施設運営を行います。また地域の福祉資源として地域社会のニーズに積極的に対応し、地域で生活する障害者を支えていくことを推進します。





花こぶし  
ふるへて空に 溶けこめり  
るりの句



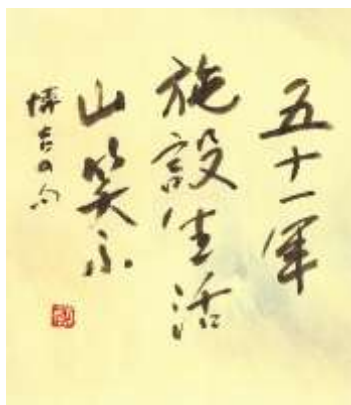
沈水葉 芽吹きて赤し  
花のごと  
紀美の句



俳句 (木の実の会)



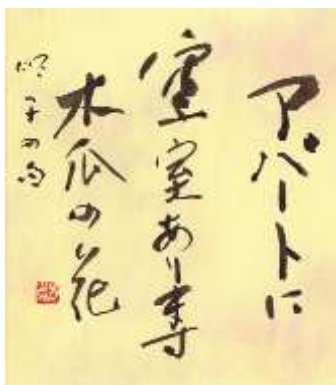
花紫雲英 おもひおもひの  
ランドセル  
洋子の句



五十一年 施設生活  
山笑ふ  
博吉の句



花こぶし  
斧痕ふかき 太柱  
美智子の句



アパートに 空き室あります  
木瓜の花  
昭子の句



縁側に 少しばかりの  
春の路  
恵子の句

編 集 後 記

暖かさを通り越し、暑い日が多くなりました。気温の変化が激しいので体調に気を付けていきましょう。

(記：殖栗)